

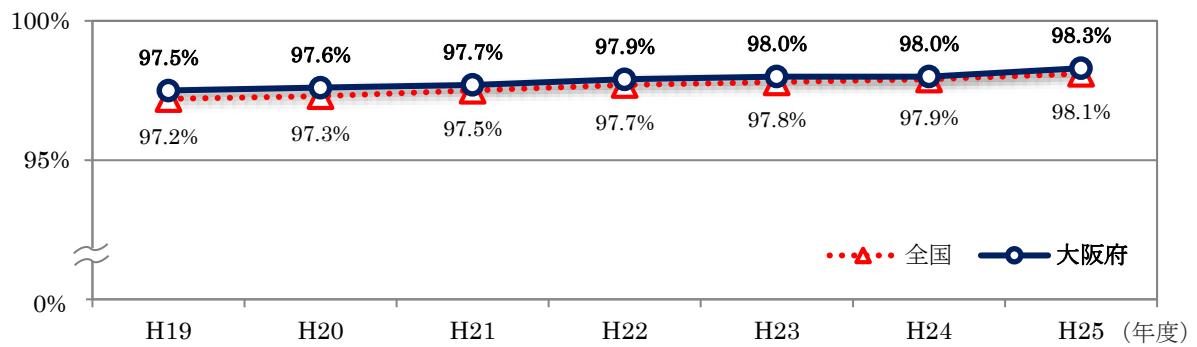
大阪府における歯科口腔保健の現状

1 乳幼児期

- ① 1歳6か月児、3歳児、いずれもの年齢においてもむし歯のない者の割合は増加傾向にある。(図1-1、図1-4)
- ② むし歯のない者の割合の地域間の差は、1歳6か月児では97.8%~99.0%と約1%、3歳児では79.8%~84.8%と約5%となっている。
(図1-2)(図1-5)

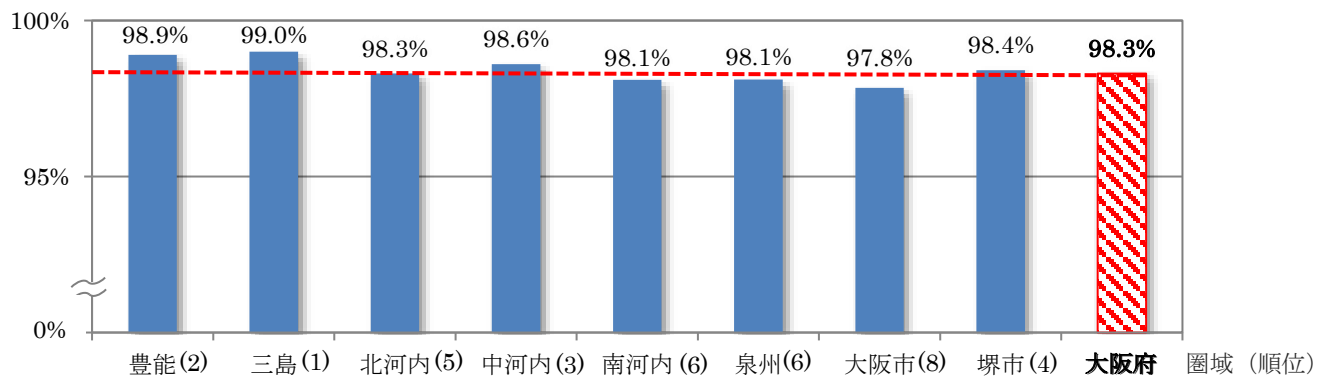
▼ 1歳6か月児のむし歯のない者の割合

【図1-1】

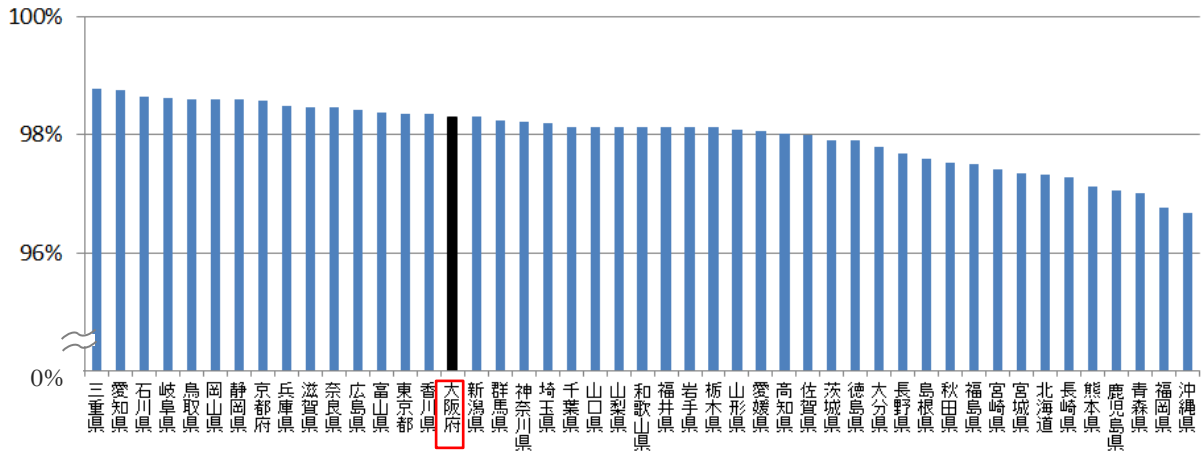


▼ 二次医療圏別1歳6か月児におけるむし歯のない者の割合 (平成25年度)

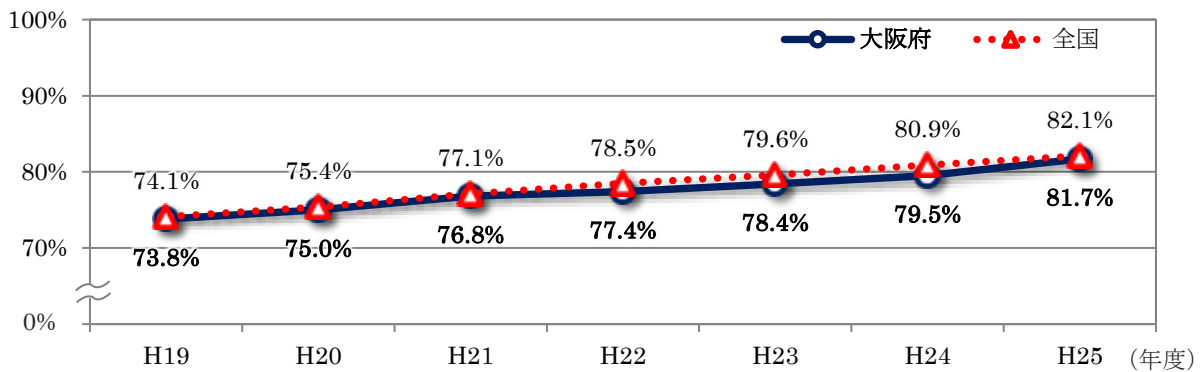
【図1-2】



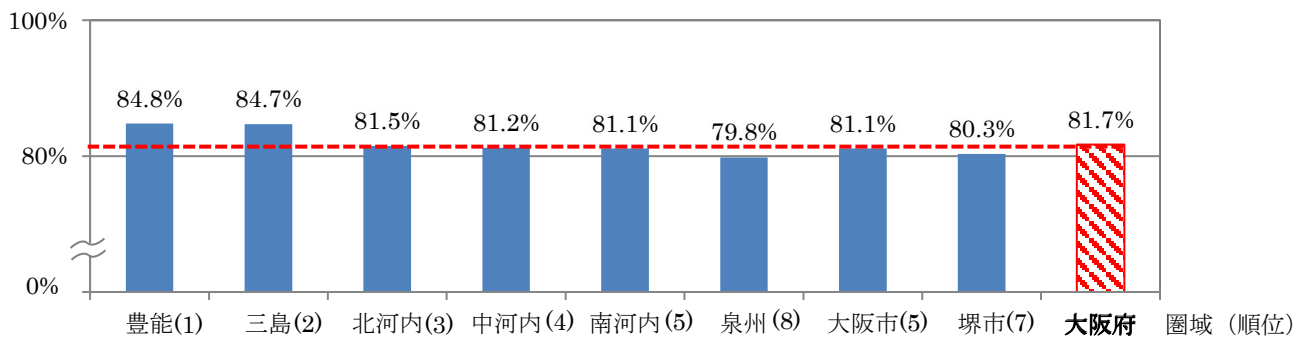
▼ 都道府県別1歳6か月児におけるむし歯のない者の割合（平成25年度）：大阪府は全国第16位
【図1-3】



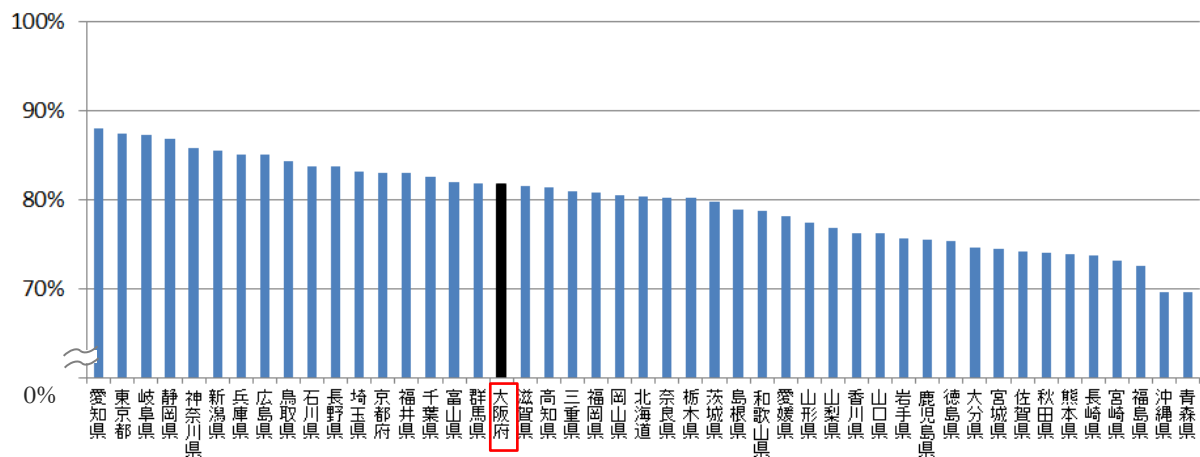
▼ 3歳児におけるむし歯のない者の割合
【図1-4】



▼ 二次医療圏別3歳児におけるむし歯のない者の割合（平成25年度）
【図1-5】



▼ 都道府県別3歳児におけるむし歯のない者の割合（平成25年度）：大阪府は全国第18位
【図1-6】



▼ 乳幼児期における目標値

指標	対象年齢	現状 (H25年度)	目標
むし歯のない者の割合の増加	3歳	81.7%	85%以上

出典

【図1-1】 【図1-2】 【図1-4】 【図1-5】

母子関係業務報告・大阪府市町村歯科口腔保健実態調査（大阪府）

厚生労働省所管国庫補助等にかかる実施状況調べ（全国）

【図1-3】

1歳6か月児歯科健康診査実施状況

【図1-6】

3歳児歯科健康診査実施状況

2 学齢期

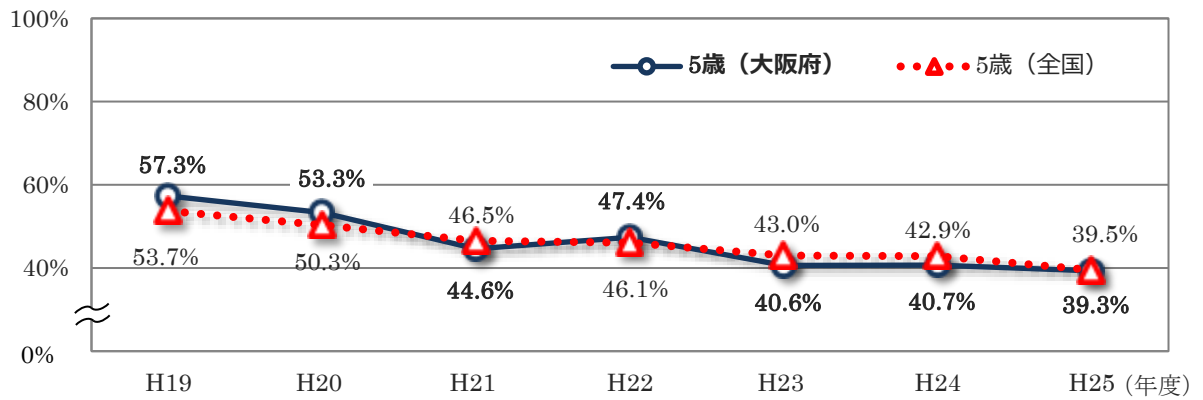
① 幼稚園（5歳）、小学校（9歳）、中学生（12歳）、高校生（16歳）、いずれもの年齢においてもむし歯のある者の割合は減少傾向にある。

（図2-1、図2-2、図2-3、図2-5）

② 高校生（16歳）では、むし歯のある者の割合が50%を超えている。（図2-5）

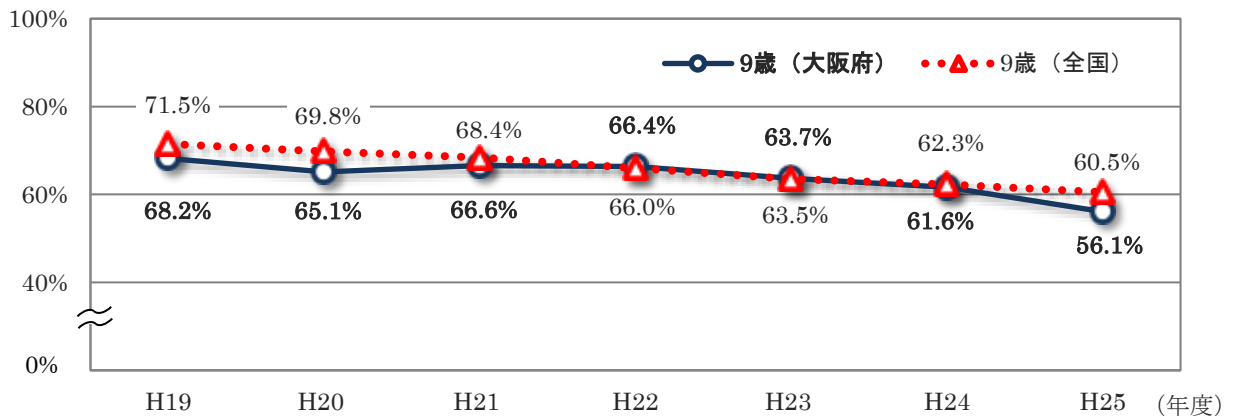
▼幼稚園（5歳）におけるむし歯を有する者の割合

【図2-1】



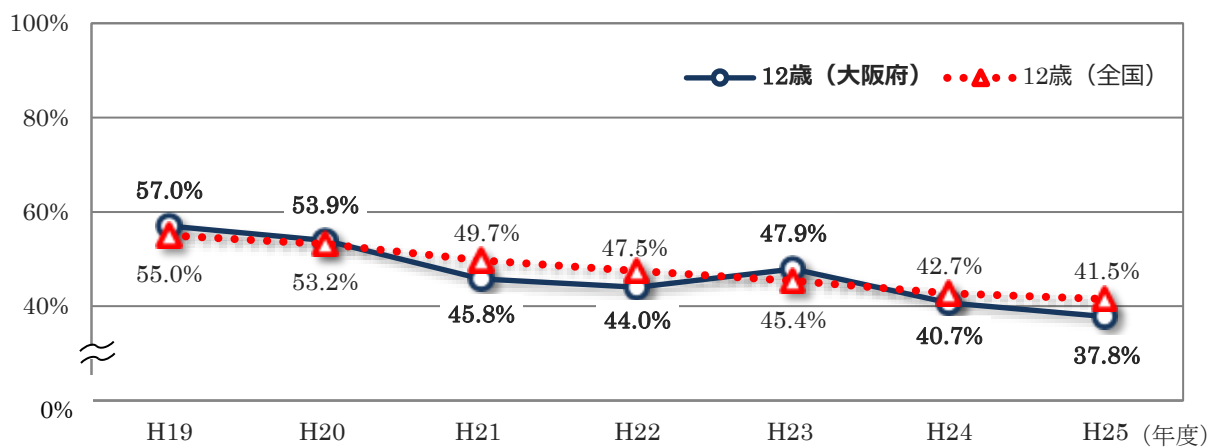
▼小学校（9歳）におけるむし歯を有する者の割合

【図2-2】



▼ 中学生（12歳）におけるむし歯を有する者の割合

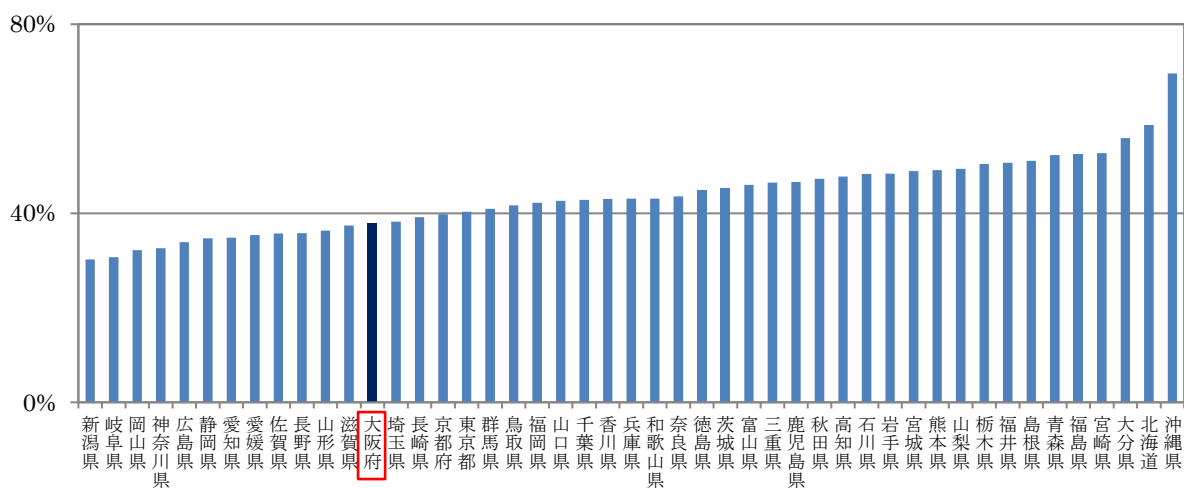
【図2-3】



▼ 都道府県別中学生（12歳）におけるむし歯を有する者の割合（平成25年度）：

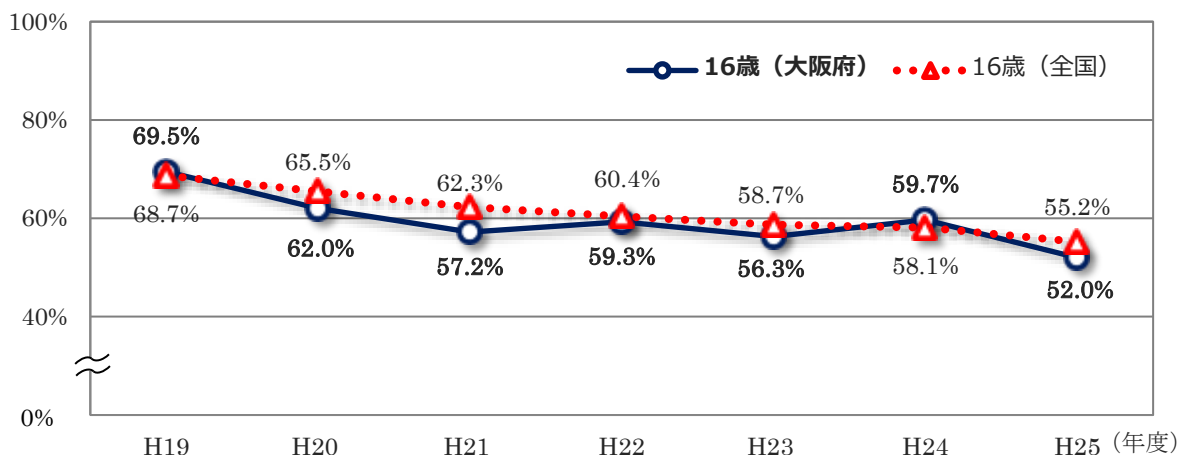
大阪府は全国第34位

【図2-4】



▼ 高校生（16歳）におけるむし歯を有する者の割合

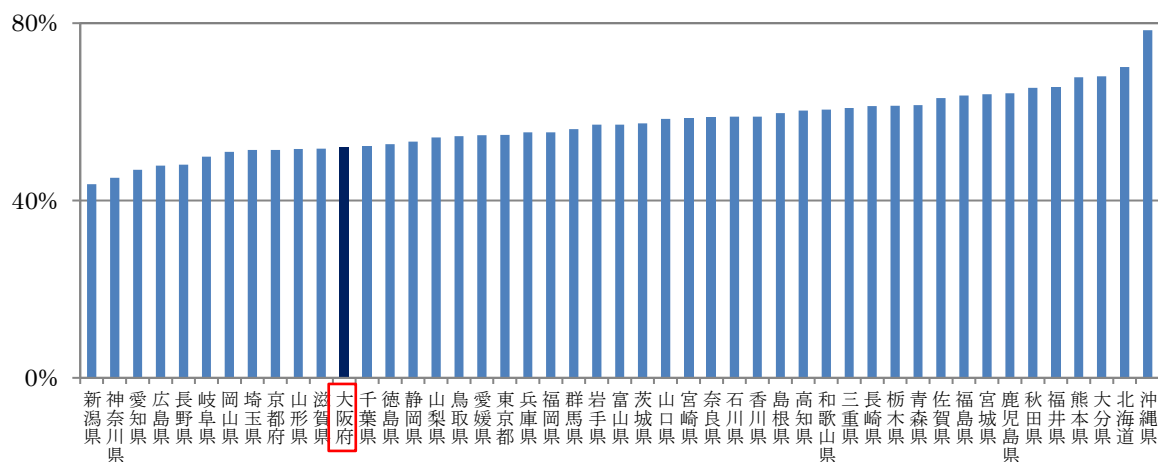
【図2-5】



▼ 都道府県別高校生（16歳）におけるむし歯を有する者の割合（平成25年度）：

大阪府は全国第35位

【図2-6】



出典

【図2-1】 【図2-2】 【図2-3】 【図2-4】 【図2-5】 【図2-6】

学校保健統計調査

▼ 学齢期における目標値

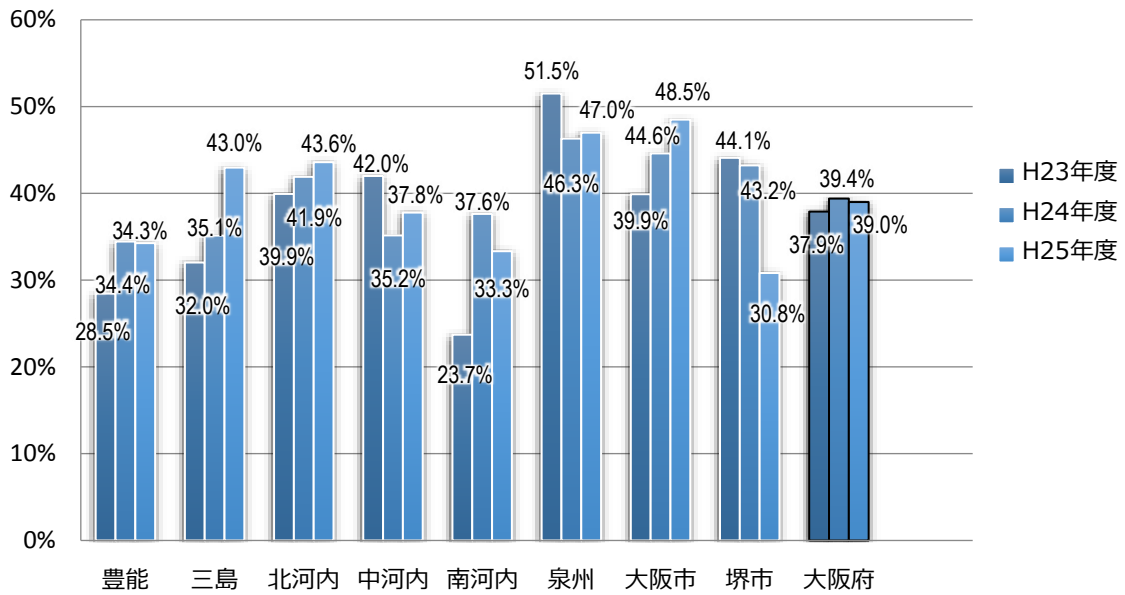
指標	対象年齢	現状 (H25年度)	目標
むし歯のある者の割合の減少	12歳	37.8%	40%以下
むし歯のある者の割合の減少	16歳	52.0%	45%以下

3 成人期・高齢期

- ① むし歯の治療が必要な者の割合は増加傾向にある。(図3-1)、(図3-3)
- ② 歯周病の治療が必要な者の割合は増加傾向にある。(図3-2)、(図3-4)

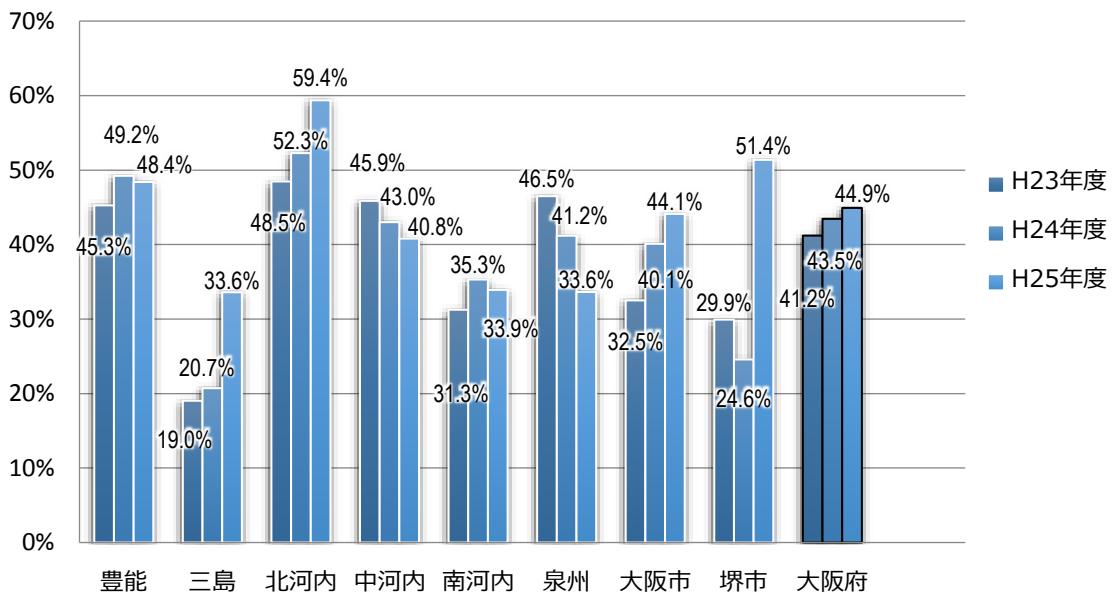
▼ 40歳におけるむし歯治療が必要な者の割合

【図3-1】



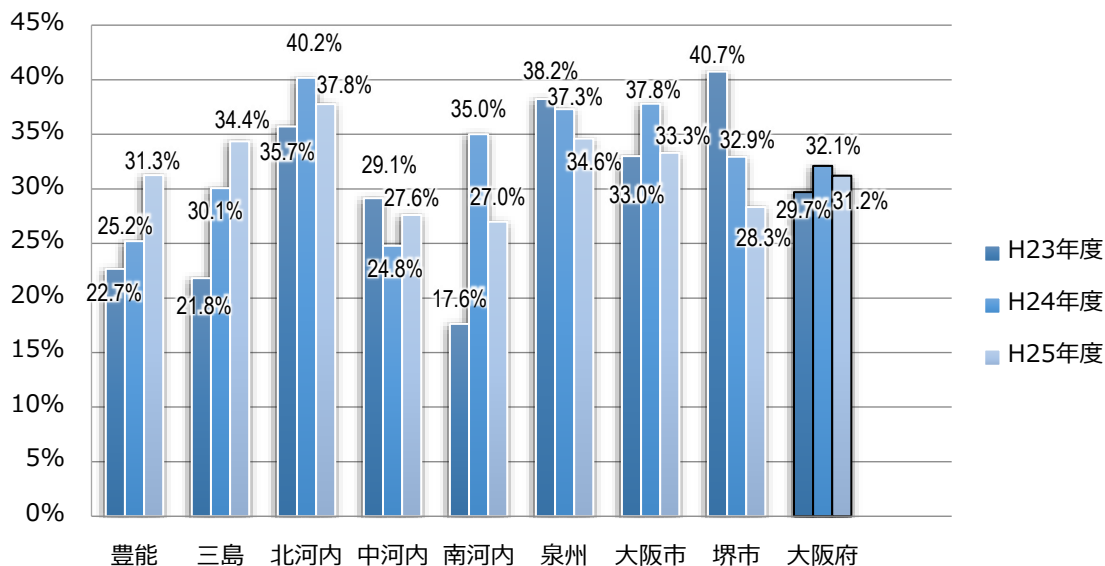
▼ 40歳における歯周治療が必要な者の割合

【図3-2】



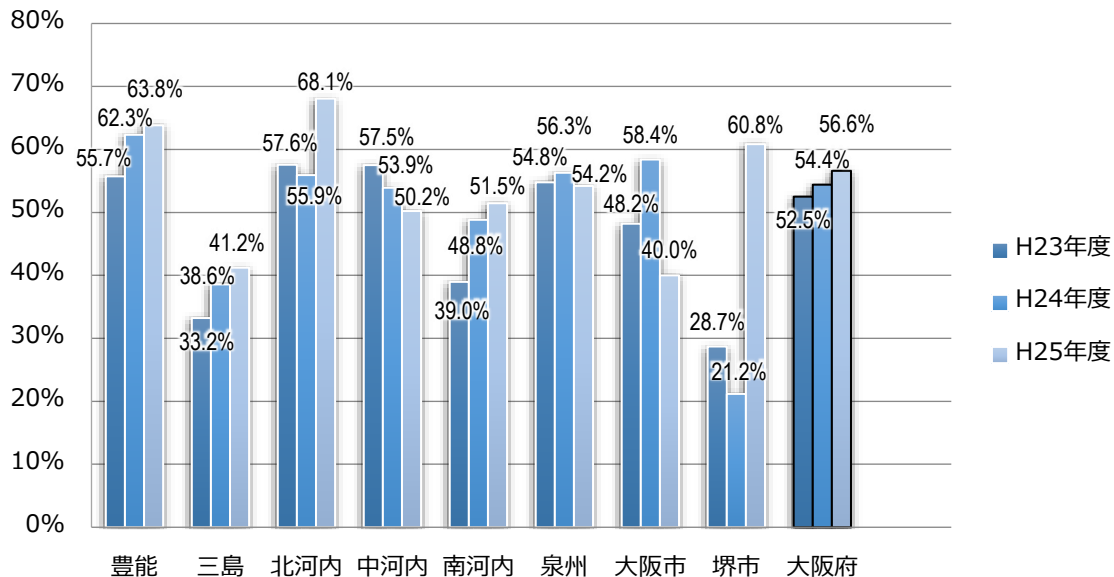
▼ 60歳におけるむし歯治療が必要な者の割合

【図3-3】



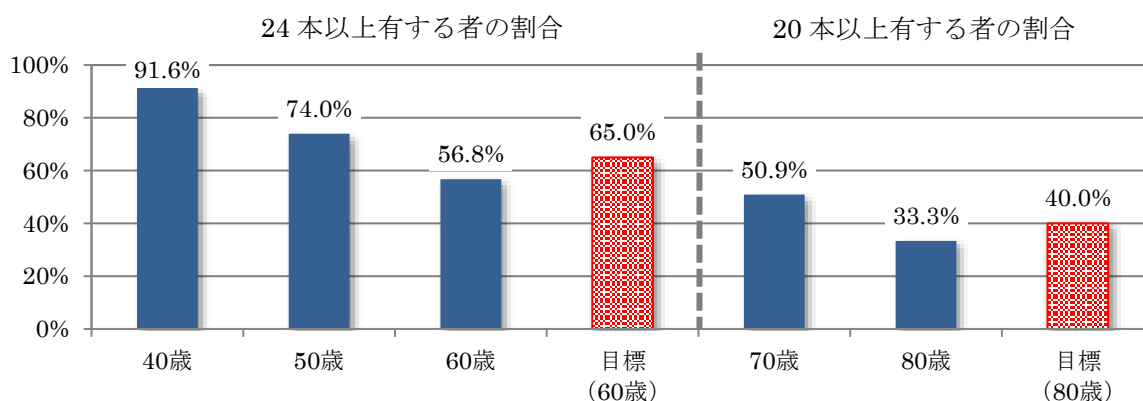
▼ 60歳における歯周治療が必要な者の割合

【図3-4】



▼ 自分の歯を有する者の割合（平成 23 年度）

【図 3-5】



出典

【図 3-1】 【図 3-2】 【図 3-3】 【図 3-4】

大阪府市町村歯科口腔保健実態調査

【図 3-5】

府民の健康と生活習慣に関する調査（40 歳、50 歳、70 歳）

平成 21-23 年度国民健康・栄養調査（60 歳、80 歳）

▼ 成人期・高齢期における目標値

○歯の喪失状況に関する目標

指 標	対象年齢	現状（H23 年度）	目標
24 本以上の歯を有する者の割合の増加	60 歳	56.8%	65%以上
20 本以上の歯を有する者の割合の増加	80 歳	33.3%	40%以上

○咀嚼良好者の割合の増加に関する目標

指 標	対象年齢	現状（H24 年度）	目標
咀嚼良好者の割合の増加	60 歳以上	70.1%*1	75%以上

○むし歯予防に関する目標

指 標	対象年齢	現状（H25 年度）	目標
むし歯治療が必要な者の割合の減少	40 歳	39.0%	25%以下
	60 歳	31.2%	18%以下

○歯周病予防に関する目標

指 標	対象年齢	現状 (H24 年度)	目標
歯周病の自覚症状のある者の割合の減少	20・30 歳代	23.9% ^{*1}	20%以下
歯周治療が必要な者の割合の減少	40 歳	44.9% (H25 年度)	33%以下
	60 歳	56.6% (H25 年度)	48%以下
喫煙と歯周病の関係について知っている者の割合の増加	20 歳以上	44.3% ^{*1}	50%以上
糖尿病と歯周病の関係について知っている者の割合の増加	20 歳以上	33.7% ^{*1}	40%以上

○歯と口の健康づくりのための意識づけと実践の推進に関する目標

指 標	対象年齢	現状 (H23 年度)	目標
過去 1 年に歯科健診を受診した者の割合の増加	20 歳以上	46.0% ^{*1} (H24 年度)	55%以上
かかりつけ歯科医を有する者の割合の増加	20 歳以上	68.5% ^{*1} (H24 年度)	70%以上
歯間部清掃用器具を使用する人の割合の増加	50 歳	51.2% ^{*2}	55%以上
	60 歳	53.3% ^{*2}	60%以上

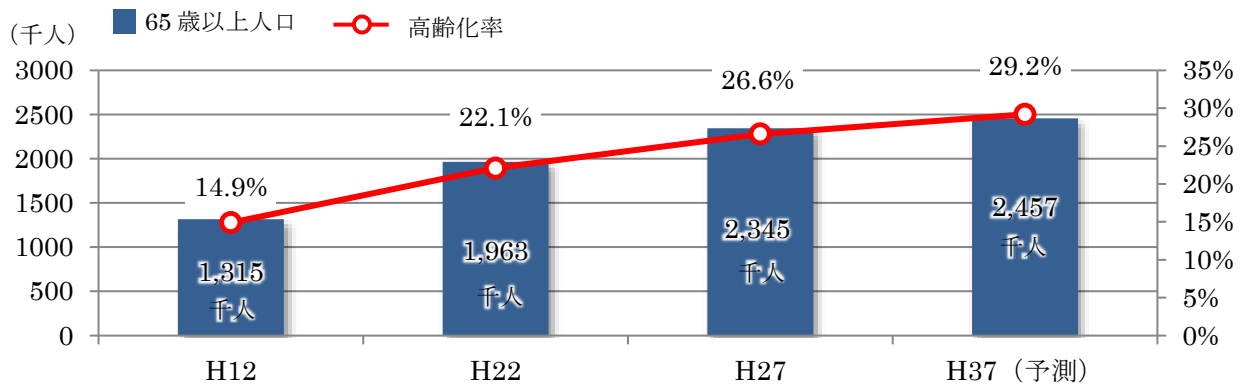
出典：※1 「食育」と「お口の健康」に関するアンケート調査、※2 府民の健康と生活習慣に関する調査

4 定期的な歯科健診を受けることが困難な人（要介護者）

- ① 居宅における在宅歯科医療サービス実施件数は10.0件/診療所で全国値(5.6件/診療所)と比較すると多い。同じく、施設における在宅歯科医療サービス実施件数も43.1件/診療所と全国値(16.4件/診療所)と比較すると多い。(表4-1)
- ② 定期的な歯科健診を実施している介護老人保健施設は、全国値と比較すると低い割合となっている。(表4-2)

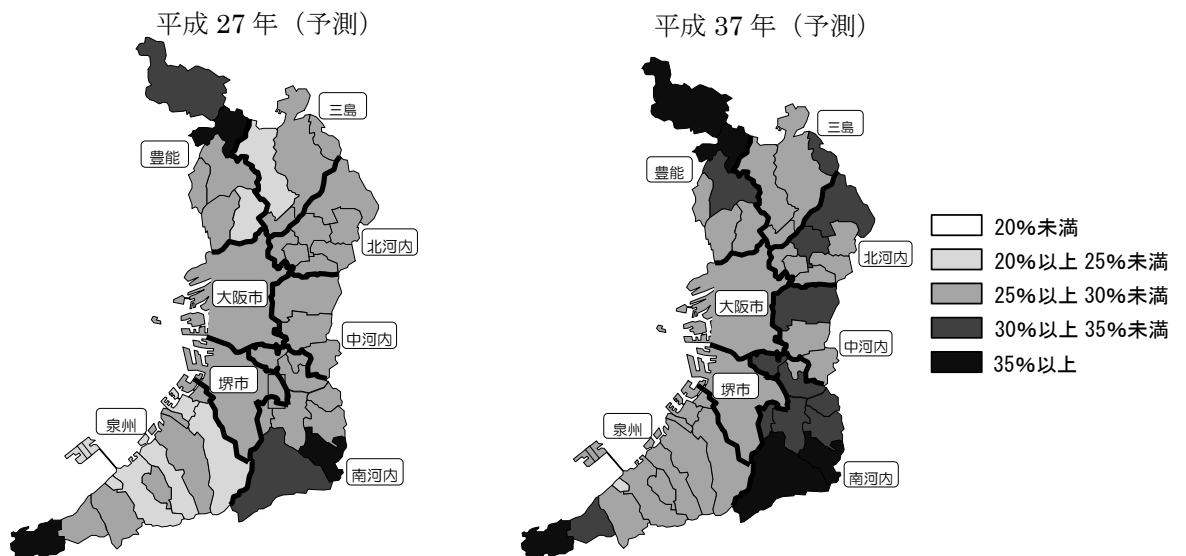
▼ 高齢者（65歳以上）の推移

【図4-1】



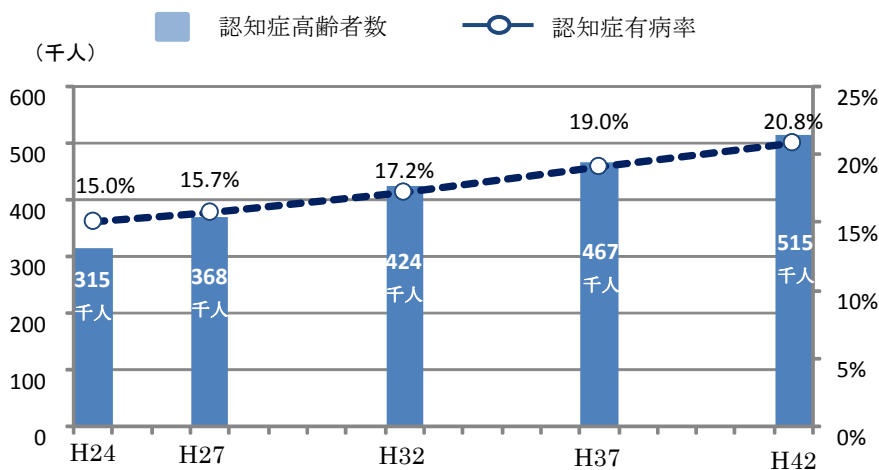
▼ 市町村別高齢化率の推移

【図4-2】



▼ 認知症高齢者の推移

【図 4-3】



▼ 在宅歯科医療サービスの実施件数（平成23年：「実施件数」は平成23年9月の実績）

【表 4-1】

	在宅医療サービス実施 歯科診療所数 (A)	歯科診療所総数 (B)	在宅医療サービス実施 歯科診療所割合 (A) / (B)
豊能	136	564	24.1%
三島	56	382	14.7%
北河内	119	584	20.4%
中河内	103	453	22.7%
南河内	80	324	24.7%
泉州	99	438	22.6%
大阪市	371	2,236	16.6%
堺市	102	462	22.1%
大阪府 (計)	1,066	5,443	19.6%
全国	13,830	68,156	20.3%

	居 宅			施 設		
	訪問 施設数 (C)	実施 件数 (D)	一診療所 当たり 実施件数 (^(D) / _(A))	訪問 施設数 (E)	実施 件数 (F)	一診療所 当たり 実施件数 (^(F) / _(A))
豊能	113	1,266	9.3	62	3,723	27.4
三島	44	346	6.2	34	876	15.6
北河内	81	685	5.8	83	1,880	15.8
中河内	76	743	7.2	53	2,350	22.8
南河内	66	814	10.2	44	951	11.9
泉州	71	1,043	10.5	68	3,307	33.4
大阪市	273	3,664	9.9	216	9,392	25.3
堺市	83	2,076	20.4	61	23,449	229.9
大阪府(計)	807	10,637	10.0	621	45,928	43.1
全国	9,286	78,078	5.6	8,677	227,497	16.4

▼ 介護老人保健施設における定期的な歯科健診実施状況

【表 4 - 2】

指 標	年 1 回以上	不定期に実施	なし
全国（平成 23 年度）	19.2%	43.4%	37.3%
大阪府（平成 24 年度）	17.3%	17.3%	42.3%

出 典

【図 4 - 1】 【図 4 - 2】 【 4 - 3】

大阪府高齢者計画 2 0 1 5

【表 4 - 1】

医療施設調査

【表 4 - 2】

歯科口腔保健の推進に関する総合的な研究（全国）

府内の介護老人保健施設における歯科保健の取り組みについての調査（大阪府）

▼ 定期的な歯科健診を受けることが困難な人（要介護者）における目標値

指 標	現状（平成 24 年度）	目標
介護老人保健施設での定期的な歯科健診の実施の増加	17.3%	35%以上

5 定期的な歯科健診を受けることが困難な人（障がい児者）

定期的な歯科健診を実施している障がい児者入所施設は、全国値と比較すると低い割合となっている。（表5）

▼ 障がい児者入所施設における定期的な歯科健診実施状況 【表5】

指 標	年1回以上	不定期に実施	なし
全国（平成23年度）	66.9%	19.0%	14.0%
大阪府（平成24年度）	58.1%	10.5%	12.8%

出 典

【表5】

厚労科研歯科口腔保健の推進に関する総合的な研究にて調査（全国）

府内の障がい者（児）入所施設における歯科保健の取り組みについての調査（大阪府）

▼ 定期的な歯科健診を受けることが困難な人（障がい児者）における目標値

指 標	現状(平成24年度)	目標
障がい児及び障がい者入所施設での定期的な歯科健診の実施の増加	58.1%	75%以上